

# 令和4年度 三和地域協議会事業計画

## 1, はじめに

三和地域では人口減少と高齢化が進むなか、近年の新型コロナウイルス感染症による影響もあり、住み続けるための状況は厳しさを増し、世帯減や空き家の増加による自治力の低下など、地域コミュニティの維持存続が、ますます大きな課題となってきました。

このようななかで8年目を迎える三和地域協議会は、生活交通やくらしのサポート、子育て支援、定住促進などを中心として、引き続き住民の生活を守る活動に取り組むたいと考えています。

三和地域住民の生活基盤を支える「みわひまわりライド」と「みわひまわりサポート」の2事業を有効に活用し、引き続き「安心して暮らせる三和地域」「子育て支援が充実した三和地域」「新たな活力が生まれる三和地域」などをめざして、まちづくり活動を進めていきたいと考えています。

本年4月から市直営施設としてスタートした三和荘につきましては、令和4年度でレストラン及び宿泊施設の改修、令和5年度で生涯学習施設の改修が計画されており、令和6年のフルオープンまで真に地域住民の交流の拠点施設となるよう関係機関との調整を進めます。

三和診療所の診療開始につきましても、3月の三和町自治会長会での市からの説明では具体的な診療再開の説明がなされなかったため、一日も早い再開に向け自治会長会とも連携しながら市への働きかけを行います。当協議会としても、本年度から三和荘が住民の交流施設となることから、新たな活用の一環として、防災や救命に関わる活動の展開を実施します。

さらに、小中一貫校三和学園がスタートして4年目を迎えるなか、学校とも連携を図りながら、地域として児童生徒を支える活動の取り纏め役として、また閉校となった各小学校の今後の活用につきましても、関係機関との連絡調整も要請に基づき実施してまいります。

## 2, 全体事業

令和3年度から実施している「三和地域暮らしサポート事業」に加え「新型コロナウイルス対策・お買い物サポート事業」、その他防災や救命に関わる活動に取り組んでいきたいと思います。

また、地域に定着した行事となった「みわこどもまつり」のほか、地域全体で取り組む「三和ふれあいフェスティバル」等の地域振興イベントについては、住民活動のよりどころとなる行事のこれからのあり方を考えながら、新型コロナウイルス感染症への対応状況を踏まえ、開催可能な形を模索しながら新しいスタイルでの実施を検討していきたいと思います。

部会活動としては、「地域活力部会」は状況に応じて方法を考えながら活動を行い、「生活基盤部会」で新たな課題に取り組むとともに、「交流・連携部会」の組織と活動を確立し、引き続き大きな課題である定住促進の事業についても、常任委員会・事務局を中心に各自治会や住民の皆さんと協力し、市と連携して進めます。

### (1) 三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称「みわひまわりライド」）

運行6年目を迎える「みわひまわりライド」は、他に交通手段を持たない三

和地域住民の買い物等の日常生活や路線バスとの乗り継ぎ等の「ラストワンマイル」を支える移動交通手段として重要な役割を担っており、課題となっている高齢者等へのPR・周知については地域内の実情に詳しい民生児童委員の皆さんとの情報共有等連携した取組みを継続して行います。現状の利用者数や運行便数を安定して維持していくために必要な事務所機能の維持・地域住民の理解と協力・行政の適切な支援が継続できるよう地域及び行政機関に働きかけていきます。

また、本年9月の運送事業登録更新時には75歳以上となる数名の運転者の退職が見込まれることから、昨年度に増員した新規登録運転者とのスムーズな入替えができるよう調整を図ります。

さらに利用会員の利便を図るため、「敬老乗車券」の適用など利用しやすい環境整備や市のモデル実証事業の早期検証による補助事業の制度化などについて市への要望を継続していきます。

## (2) 三和地域暮らしサポート事業（愛称「みわひまわりサポート」）

サポート事業は前年度7月にスタートしましたが、実施する中で様々な課題も見えてきました。同事業がさらに充実し、存続・発展するよう生活基盤部会で検討を加えていきます。

90歳前後の一人暮らしのおばあさんや、軽い障害のある70代の男性宅など訪れると、家の周りの草引・草刈などのほか、ホースを伸ばしての畑の水やりや作物の支柱立て、除草剤の散布など、利用者の要望は思った以上に多くあります。暮らしを支える様々な公的な制度はありますが、人生100年時代を迎え、人的にも予算の面からも、制度のすき間で手が届かないところが様々、残っているように思われます。

その中で、住民による支え合いの組織が、福祉のすき間にどこまでかかわっていけばよいのか、難しい課題も抱えています。個人情報扱いや、シルバー人材センター・庭師さん・電気店などの仕事との調整、整理も必要です。また、当事業は、日常のちょっとした作業が原則ですが、例えば、草刈の範囲・面積など、利用者の要望にどこまで応えるか、安全面からのアプローチも必要と考えます。

## (3) 福知山公立大学連携事業

本年度も福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として、1回生10数人が、1年間三和をフィールドに学習します。

本年度は年度当初から現地学習で受け入れる予定であり、昨年度までのテーマをベースに新たな分野も加え、事業所等の見学を行い、関係者が講師として講義と討論をする形式で取り組みます。

7月と1月には、半期ごと年間の学習成果を分野別に発表する機会も計画されており、この取り組みを地域の元気に結びつけられるよう、住民の皆さんのご協力をお願いします。

## (4) 空き家対策・定住促進事業

本年度も引き続き、空き家と移住希望者のマッチングと移住後のフォローや移住相談・空き家の内覧・調整、上川合おためし住宅に関する事など、市と連携していくとともに、自治会長をはじめ地域の方たちにもご協力いただきながら取り組んでいきます。

移住者交流会については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら開催したいと思っております。

### 3, 常任委員会

三和地域協議会の活動全体を考え執行していく機関として定期的に開催し、地域の求める課題に敏速かつ的確に対応できるよう努めます。また、行政機関や各種団体との連携を密にし、暮らしつづけられる地域づくりをめざします。

### 4, 令和4年度設置常設部会

- (1) 地域活力部会
- (2) 生活基盤部会
- (3) 交流・連携部会

#### (1) 地域活力部会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開催方法などを考慮すると屋内に子どもたちが大勢集まる「みわこどもまつり」は本年度も行うことが難しいと考えています。そこで、令和3年度に開催してご好評をいただいた「こどもウォークラリー」を今年も開催するべく準備中です。地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」は引き続き毎週金曜日に開催します。また、三和音頭については、イベントが開催されれば出演したり、子どもたちに引き続き教えたりすることで、地域への浸透を図ります。さらに、子育て講演会も開催する予定です。

##### ○ こどもウォークラリー

今年度も親子で楽しめるウォークラリーを5月に開催予定です。密を避けるため定員を決めますが、親子で楽しんでもらえるよう準備をすすめています。

##### ○ みわふれあいカフェ

冬季休業を終え、令和4年4月から再開しています。今年度も月1回はコーヒー屋さんのオリジナルコーヒーを出すほか、「うちのモノ ゆずります♪会」も同時開催するなど、ふれあいカフェならではの活動を模索していきます。

##### ○ ゆずります会

令和3年度にスタートした「うちのモノ ゆずります♪会」は大きな反響があり、残った物品も保管しているため今年度も引き続きみわふれあいカフェとの同時開催で行います。

「学用品 ゆずります♪会」はホームページで情報の公開を行ったり、こちらのみわふれあいカフェと同時開催するなど、随時行っていきます。

##### ○ 三和音頭の普及

町内イベントに参加し、依頼いただければ踊りを教えに行くなど、三和音頭の普及に努めます。

##### ○ 講演会等の開催

秋に演劇鑑賞会の開催を予定しています。

##### ○ ラジオ番組での広報活動

本年度も継続してラジオ番組での三和地域のアピール活動を行っていく予定です。

#### (2) 生活基盤部会

本年度は、暮らしサポート事業の新しい取り組みとして、コロナ禍が長引く中感染者や濃厚接触者を抱えた家族の暮らしを支える「新型コロナウイルス対策・お買い物サポート事業」を始めます。感染防止の面から、家庭内での待機を余儀なくされ、外出できなくなった家族の生活の不自由さを少しでも解消するため、

日用必需品など緊急を要するものに限り、買い物を代行します。

買い物の品や、それに伴う、代金の支払い・請求などは、利用者も協力者も直接、接触しなくても済むような方法で実施します。

暮らしサポート事業は、地域の、特に高齢者の生活に貢献し、利用者と協力会員が、この事業を通じ互いに喜びを共感できるよう、さらに努めますので皆様のご協力をよろしくお願いします。

### (3) 交流・連携部会

前年度中止せざるを得なかった「三和フォトコンテスト」を、本年度に改めて第1回として募集します。本年度は早めに募集を開始し、小中学生に対する広報も実施し、多くの作品応募があるように取り組みたいと考えます。既応募作品については本年度に含めて審査することになります。

また新たなメンバーを加え、地域との連携をさらに深める活動を考えていきます。

## 5, 地域住民活動支援事業

さまざまな地域振興事業や、三和地域の維持存続を図り暮らす人が元気で過ごせるための活動をする団体や地域を支援します。また、地域活動を始めたいという人の相談をうけたり、各種の支援制度などについてアドバイスし、住民活動の活発化を図ります。

### (1) 三和診療所再開に向けての住民要望について

令和2年8月より休診中の三和診療所については、令和4年3月の自治会長会にて福知山市より、松本病院と令和4年4月から3年契約で更新を行うが、コロナウイルス感染症拡大の影響によって再開時期は未定との説明がありました。協議会としては自治会長会など関係機関と連携を取りながら、早期再開にむけて働きかけていきたいと思えます。

### (2) 三和地域福祉推進協議会事業について

継続して、研修会や講演会、子どもや高齢者の見守り等の活動を計画し、地域で生活する上での様々な課題に住民自らが関心を持ち、地域づくりに主体的に関わっていくための「きっかけ」となるよう各団体で構成する「代表者会」で協議のうえ実施します。特に、コロナ禍の影響により昨年度から中止、延期した取組みについては早期実施を目指します。

### (3) 旧細見小学校活用推進委員会について

旧細見小学校の活用事業者が決定し、福知山市及び活用事業者からの情報提供や相談に対する住民窓口となるために作られた「旧細見小学校活用推進委員会」の事務局を担うことになりました。旧細見小学校活用事業者・住民からの相談受付、委員会開催の案内などを行っていきます。

## 6, 市役所三和支所委任事業について

### (1) 三和ふれあいフェスティバルの開催

三和地域で開催される最大の地域交流イベントである「三和ふれあいフェスティバル」の事務局を引き続き担います。会場や駐車場等新たな課題があ

る中、開催方法を模索しながら開催を目指していきたいと考えています。

### **(2) 三和町自治会長会事務局**

三和地域の自治会長の連合組織である三和町自治会長会の事務局として、連絡調整等の事務を実施するとともに、自治会長に対する月2回の刊行物等の配布や、各自治会独自の文書作成の支援等を引き続き実施します。

### **(3) 無線放送録音受任**

三和地域全域をカバーする重要な情報伝達手段である「無線放送」について、そのアナウンス録音を担当し、年間を通して各家庭に情報を届けます。

## **7, 広報紙「みわを元気に」発行、その他の情報発信**

定期的に広報紙を発行し、地域における住民活動情報の発信と協議会活動の理解促進に努めます。

また、ホームページやフェイスブック等を活用し、地域協議会の活動がより「見える」ものになるよう、発信していきたいと思えます。